

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

軍事費より暮らし福祉に予算を 物価高騰対策 消費税 減税を 水道料金値上げ許されない

憲法を暮らしに生かし 市民が主人公の政治を 松江市役所前で県議、市議団が訴え

8月22日、日本共産党は、中国ブロックいっせい宣伝と



左から佐野、樋野両市議、尾村、大田両県議、村上氏、亀谷氏

して松江市役所前で、尾村利成県議、大田陽介県議、たちなふみ市議、佐野みどり市議、樋野伸一市議、亀谷優子党県常任委員、村上一隠岐の島町議が演説しました。

尾村氏は、自公政治は国民の暮らしが大変な中、予算の主役を軍事費にしていると批判し「医療や福祉、農業などに税金を回すべき」と強調。秋の臨時国会では「消費税5%減税を実現させよう」と呼びかけました。

うとしていくことにふれ、「物価高騰の中、松江市は2度も給食費の保護者負担を上げた。この上市民が苦しんでいる中、水道料金1・3倍の値上げは許されない。市は今後、公共交通の料金値上げの計画もある。松江市議団は憲法を暮らしに生かし市民が主人公の政治を目指している。3人になった議員団で、6月議会に引き続き9月議会もたたかう」と値上げストップに力を尽くす決意を述べました。

また市田氏は、暮らしの不安から参政党に投票した人と日本共産党の政策、主張の方向は一致すると述べ「暮らしが苦しいのは『アメリカ、財界いいなり』の二つのゆがみのせいだと希望を語るのが大事だ」と強調しました。

党議席の後退について、暮らしを守るメインの政策と排外主義問題の両方の論戦が必要となり「客観的な難しさがあった」としつつ、「『突風』をはね返す質量ともに大きな力をつけるのが教訓。躍進した他党に比べ『比例を軸』の党押し出しがどうだったかの検討も必要だ」と語りました。

来年は松江市で開催 市議会議長会研究フォーラムin札幌

8月27、28日の両日、札幌市で第20回全国市議会議長会研究フォーラムが開催され、共産党市議団からはたちなふみ団長と佐野みどり市議が参加しました。

今回次期開催地として全員で登壇し挨拶も行いました。「秋からはじまるNHK連続テレビ小説ばけけで松江を予習してからぜひお越しを」との次期開催地挨拶に会場がわきました。

この研究フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題について情報交換を行うことを目的としています。今回は2500名の市区議会議員が集い、松江市議会からは25名が参加しました。松江市議会は次年度の開催地であることから、昨年より各会派からの代表委員で準備会を設け取組んでいます。

今回のテーマは「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」。若者や女性、会社員など多様な人材の市議会への参画を促し議会の活性化しようとする全国各地の活動を交流し、研究者の提言などを共有するパネルディスカッションが行われました。



次期開催地挨拶を松江市議会からの参加者全員で
左から3人目佐野市議、5人目たちな市議

シンポジウム、議場コンサート、高校生による模擬選挙、夏休みの議場見学、こども議会など市民と政治が身近になるよう取り組んでいると報告がありました。また「政治でまちが変えられる、と市民が実感することが必要」と、報酬や定数削減だけが対策ではないという発言もありました。

市田 忠義 党副委員長招き 選挙結果と展望を語る集い開く



語りかける市田氏

8月31日、日本共産党島根県委員会と東部地区委員会は市田忠義党副委員長を招き、松江市で「選挙結果と政治変革の展望を語る集い」を開催しました。

市田氏は、事前に寄せられた質問に丁寧に答え、衆参で自公を少数に追い込んだ意義と党の役割について詳しく述べ、選挙結果全体を大局的に見て、要求実現運動や党勢拡大に立ち上がるよう呼びかけました。

排外主義・極右的潮流が伸びた理由を問われた市田氏は「自民党政権と新自由主義破綻の反動的な表れと同時に、危機にひんした支配勢力は、延命策で極右・排外主義勢力の伸長を助けた。これは安倍派がもともと行ってきた排外主義の流れを汲むものだ」と指摘。参政党がテレビの党首討論に出演し、メディアが急きよ外国人問題を争点に設定した例も挙げました。



会場いっぱい集った参加のみなさん